

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成23年10月21日(金)

開会 13時30分

閉会 14時00分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 清水明委員長、丹保健一委員、牛場まり子委員、岩崎恭典委員、真伏秀樹教育長

欠席者 なし

4 出席職員

教育長 真伏秀樹(再掲)

副教育長兼経営企画分野総括室長 山口千代己

教育支援分野総括室長 服部浩 学校教育分野総括室長 白鳥綱重

社会教育・スポーツ分野総括室長 田畑知治 研修分野総括室長 長野修

経営企画分野

教育総務室長 平野正人生 予算経理室長 加藤正二 予算経理室副室長 高野吉雄

教育支援分野

人材政策室長 木平芳定 人材政策室副室長 栗本健光 人材政策室主幹 山下健康

社会教育・スポーツ分野

スポーツ振興室長 村木輝行 スポーツ振興室主事 奥田さおり

5 議案件名及び採決の結果

件名

議案第38号 専決処分の承認について

議案第39号 三重県教育委員会事務局組織規則の一部改正について

審議結果

原案可決

原案可決

6 報告題件名

件名

報告1 第66回国民体育大会の総合成績について

7 審議の概要

・開会宣告

清水明委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回教育委員会(平成23年10月11日開催)審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員が承認する。

・議事録署名人の指名

牛場委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

選挙については人事案件のため非公開で審議することを承認する。

会議の進行は、公開の議案第38号、第39号を審議し、報告1を報告した後、非公開の選挙1、選挙2を行う順とすることを確認する。

・審議事項

議案第 38 号 専決処分の承認について（補正予算第 8 号関係）（公開）

（予算経理室長説明）

議案第 38 号 専決処分の承認について（補正予算第 8 号関係）。平成 23 年 10 月 14 日急施を要したため、別紙のとおり平成 23 年度三重県一般会計補正予算（第 8 号）に係る意見聴取について専決処分したので、これを報告し承認を求め。平成 23 年 10 月 21 日提出 三重県教育委員会教育長。

提案理由 平成 23 年度三重県一般会計補正予算（第 8 号）について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、知事から意見を求められたが急施を要したため三重県教育委員会教育長事務専決規則第 3 条第 1 項の規定に基づき専決処分したので、同条第 2 項によりこれを報告して承認を求め。これが、この議案を提出する理由である。

今回、専決処分をさせていただきました補正第 8 号は、台風 12 号にかかる被害の早期復旧を図るため、緊急に必要な経費につきまして所要の措置を講じるというものです。

前回 11 日の定例会開催の時点では、県全体の補正内容はまだ確定していませんでしたが、その後、確定し公表を経て、現在、開催中の県議会に速やかに上程する必要があったため専決をさせていただきました。

次のページをご覧ください。教育委員会委員長から三重県知事に対しまして、原案に同意するという文書です。また、その裏面が知事から教育委員会委員長に対して意見を伺いますという照会文書になっています。

それでは、次のページの教育委員会関係分の歳出補正予算の表をご覧ください。

今回のような被災施設などを原形に復旧する経費は、教育委員会関係の予算でありましても、教育費という予算科目ではなく、災害復旧費として整理し予算計上することとなっています。このため、この表の下から 2 つ目、款：災害復旧費という項目を設けています。ここに 4 億 4,600 万 2,000 円を計上させていただいています。

次のページの歳出補正予算の内訳をご覧ください。それと、県全体では一般会計補正予算は、287 億円余の補正となっておりますことを申し添えます。それでは、内訳です。内容の欄をご覧ください。今回、被災に伴い復旧を行うのは、ご覧の県立 4 校にかかるものです。

まず、1 つ目の紀南高等学校では、校舎、体育館等の床上浸水がございました。また、グラウンド等に土砂等の流入がございました。このため、校舎、体育館の内部改修及びグラウンドやテニスコートの土砂撤去、整地などに要する経費として 2 億 1,203 万 8,000 円を計上しています。

次に、木本高等学校です。紀南高等学校と同様、校舎、体育館等への床上浸水、グラウンドへの土砂流入がございました。しかし、建物の内部改修を要するまでには及びませんでした。このため、グラウンド及びテニスコートの土砂の撤去、整地を行います。このために 3,468 万 9,000 円を計上しています。

次に、四日市中央工業高等学校では、校舎の裏で崖崩れが発生しました。このため、法面の復旧に要する経費として 200 万円を計上しています。

最後に、特別支援学校伊賀つばさ学園では、校舎の敷地の擁壁が崩れて、ライフラインが使用できなくなるなどの被害を受けています。このため、擁壁の復旧などに要する経費として、1 億 9,727 万 5,000 円を計上しています。

説明は以上です。

【質疑】

委員長

議案第 38 号はいかがでしょうか。

各学校を安全に修復していただき、また元どおり授業を再開していただくことが一番と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【採決】

- 全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。 -

・審議事項

議案第 39 号 三重県教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案（公開）

（人材政策室長説明）

議案第 39 号 三重県教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案。三重県教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案について、別紙のとおり提案する。平成 23 年 10 月 21 日提出 三重県教育委員会教育長。

提案理由 三重県教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案については、地方教育行政の組織及

び運営に関する法律第14条第1項及び三重県教育委員会権限委任規則第1条第10号の規定により教育委員会の議決を要する。これが、この議案を提出する理由である。

1ページは改正の規則案で、2ページに改正理由等を取りまとめましたので、2ページをご覧ください。改正理由ですが、スポーツ基本法が施行されたことを受け、三重県スポーツ振興審議会条例が全部改正されることに伴い、この事務局組織規則の一部を改正する必要があるというものです。

改正内容につきましては、第9条第11号に「三重県スポーツ振興審議会」という規定があるわけですが、これを「三重県スポーツ推進審議会」に改めるものです。施行については公布の日から施行するというものです。3ページが新旧対照表ですが、この第9条は、社会教育及びスポーツに関する事務を所管すると規定しているところで、この11号のところ、下の欄が現行ですが、「三重県スポーツ振興審議会」とあり、それを「三重県スポーツ推進審議会」に改めます。

以上でございます。

【質疑】

委員長

議案第39号はいかがでしょう。

【採決】

- 全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。 -

・審議事項

報告1 第66回国民体育大会の総合成績について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

報告1 第66回国民体育大会の総合成績について。第66回国民体育大会の総合成績について、別紙のとおり報告する。平成23年10月21日提出 三重県教育委員会事務局 スポーツ振興室長。

資料をご覧ください。第66回の国民体育大会については、山口県で行われました大会をもちましてすべての日程を終了いたしました。2の総合成績とございますが、男女総合成績天皇杯は32位でした。獲得得点は818.5点でした。女子の総合成績、これは女子だけの競技に与えられるものですが、44位です。

3番の入賞者ですが、1位から8位までが1ページで団体種目として掲載しています。優勝種目は、これも大人ですが、成人男子のテニス、そして自転車のチームスプリントで優勝がございました。高校生にかかる少年のところですが、2位の四日市工業高校のテニス、そして、女子の三重高等学校のソフトテニス、あるいはフェンシングの3位入賞と。これは三重選抜で鳥羽高校、海星高校の選抜チームでございました。

2ページは個人の種目です。個人については、一番上にありますが、レスリングのいなべ総合学園の高橋君、この高橋選手についてはインターハイで三連覇、この国体においても二連覇ということ。自転車競技においても、成年で谷口選手、そして少年は朝明高校の高土選手が優勝と。2位以下はそのとおりです。総数で入賞件数は62件でした。昨年と比較しますと、昨年は48件でしたので、入賞件数は14件上回りました。

3ページは総合成績の推移を表しています。右端が本年度第66回山口国体で、昨年同様32位ですが、得点は、昨年よりも42点上回っているということで、先ほど申し上げましたが、入賞件数も14件増えていましたので、幅広く入賞ができたのかということです。

なお、4ページは皇后杯、女子で、女子については少し低迷をしているところもあり、特に団体におきます、例えば成年女子の団体の入賞が今回はゼロであるとか、そういった課題等もございますので、引き続き、こういったところについてもしっかりと対応ができるよう、関係の団体とも協議をしていきたいと考えています。

以上でございます。

【質疑】

委員長

報告1はいかがでしょう。

牛場委員

かなり男子は62回の秋田から比べたら上がっていますが、女子は下がっていますね。

丹保委員

64回は44位だったんですね。昨年32位になって大体上がると落ちるというのがあれなのですが、維持をしているというのはすばらしいと思っています。今回、維持するだけでも大したものだと思っているんですね。私は無理矢理に上げていくよりも底辺を広げてじわりじわりと、自然に小学校、中学校から、例えば

美し国の市町対抗駅伝とかで三重県全体が絆みたいになりながら、自然に上げていくとか、そういうふうな形のもの良いと私は思っているので、そういう意味では、これからじわじわと上がるような施策を期待したいと思っていますね。

もう一つは、他県で例えば岐阜県なんかは突出しているんですね、これは何か理由があるのですか。人口比からいったら、東京や愛知とかは人口が多いから比較にならないと思うのですが、三重県の場合は180万人ぐらいでそんなに多くはないですね。岐阜は人口どれぐらいなんですかね。石川県なんかは三重県より人口が少ないんですよ、説明にあります。三重県よりかなり少ないんです。だから、そういう意味でもうちょっとどこかに何かヒントがないかということでお伺いしたい。

スポーツ振興室長

まず、この国体につきましては、いわゆる10月にやる大会だけではなくて、それまでに冬の競技もございますので、例えば石川あたりですと、そういった冬種目のスケートやスキーといったところで点が取れると。岐阜についてもそういうようなところもございます。岐阜については来年国体を控えておることもありますので、そういった対策もこれまでに計画的になされてきたということだと思います。

丹保委員

そういう事情があるんですね。納得しました。三重県は冬の競技は難しいですね。ノルディックなんかできなそうですね。分かりました。誰かに聞かれたらそういうふうに言います。

岩崎委員

先ほどのご説明の中で、女子の場合で成年女子の団体がゼロだったというのがつらいとこだというお話でしたが、これは例えばどんなのが成年女子の団体で点を取る可能性があるのですか。

スポーツ振興室長

団体種目では例えば女子サッカー、くノ一のサッカー。実はこの種目については大変期待をいつもしておるところですが、今回は本大会の1回戦で残念ながら1対0で負けたということです。その他においては、女子ハンドボール、鈴鹿にバイオレットアイリスという日本リーグに参戦しているチームもあるのですが、実はこのチームが東海ブロック予選で岐阜に思わぬ敗退をしたこともあり、頼りにしていると言いますか、そういったところが思うように伸びなかったところがあるかと思えます。

その反面、今年は、高校生の男子が大躍進をしていますので、そういった面ではうまくカバーができていけると言えると思います。

牛場委員

秋田からこの山口まで選手は変わってはないのですか。

スポーツ振興室長

当然選手については年を追うごとに、何年か続けて出ている選手もみえますが、やはり選手はそれぞれすべて同じというわけにはまいりませんので、変わってきますし、他県の状況も当然変わってきますので、戦力分析はするものの、そこを決め込んでというのはなかなか難しいところがあるかなと。我々の分析の方法もこれから検討していきたいとは考えています。

委員長

今年も多くのスポーツで小学校に体験とかウェイトリフティングで、いろんなところの会場で国体に向けて子どもたちにいろんな競技を知ってもらう取組を進めていただいています。そんなところで、こんな競技があるということを知りながら体験したり見たりという、いろんなスポーツに興味を持っていただいて、33年の国体に向けて取り組んでいただきたいと思います。

- 全委員が本報告を了承する。 -

・選挙

選挙1 教育委員長の選挙について（非公開）

三重県教育委員会会議規則第2条第2項の規定による指名推選の結果、丹保健一委員が次期委員長に決定した。

選挙2 教育委員長職務代理者の選挙について（非公開）

三重県教育委員会会議規則第3条第1項の規定による指名推選の結果、岩崎恭典委員が次期委員長職務代理者に決定した。